

午後 試験

問 1

問 1 では、プロジェクト計画の立案及びプロジェクトの管理・運営について出題した。ドキュメントの整備、利用部門との共通理解の形成、品質評価基準の策定などにおける留意点については、おおむね正しく理解されていた。

設問 2(2)の E 社システムを利用してプロトタイプを構築する理由として、“操作によって具体的にイメージができるから”などのように、プロトタイプを構築する一般的な理由を記述した解答が目立った。題意を理解し、なぜ E 社システムを利用してプロトタイプを構築したのかについて、プロジェクトの状況に一步踏み込んだ分析をした上で解答してほしい。

設問 3(3)及び(4)の品質評価方法については、プロジェクトマネージャの基本的かつ実践的なスキルの一つとして身に付け、実際のプロジェクトの管理・運営においても是非活用してほしい。

問 2

問 2 では、システム開発プロジェクトにおけるプロジェクト運営の実践力について出題した。プロジェクトにかかわる部門間のコンフリクトを解消するためのエスカレーションの意義や、承認を待たずに次工程を開始することのリスクなどについては、おおむね理解されていた。

設問 1 では、プロジェクト発足のきっかけとなる業務上のリスクを理解しているかどうかについて問うたが、漠然とした記述の解答が多かった。だれによるどのような行為がリスクとなるのかを具体的に記述してほしい。

設問 3(1)では、納期に厳しい制約のあるプロジェクトにおけるスコープの調整について問うたが、スコープを調整する方向ではなく、顧客の当初の要求をそのまま記述している解答が多かった。ステークホルダの要求をどのように調整するかは、プロジェクトマネージャ（PM）としての重要な能力であり、時には第三者を通して説得することも必要となることを理解してほしい。

設問 5 では、プロジェクトの運営組織をいかに機能させるかについて問うた。PM は、プロジェクト目標の達成に責任をもち、場合によっては、自ら解決のシナリオを描いて、ステークホルダ間の調整を図らなければならないことを理解してほしい。

問 3

問 3 では、システムの再構築における、データ移行について出題した。

設問 1(2)では、本番移行の実現性を評価する作業について問うたが、一部に作業の目的を解答したものが見られた。問われている内容を正しく理解してほしい。

設問 3(1)では、総合テストにおいてデータ移行で作成したデータを使用して、テストデータを充実させることによって、サービス開始後に安定したサービスを提供できると考えた理由を問うた。データ移行の品質向上を解答したものが見受けられたが、テストデータを充実させることに起因する理由を解答してほしい。

設問 4(2)では、対策案の検討を行っている時期が、移行総合テストの終盤であることから、検証を早期に完了させることが望ましい。そのため、解答に当たっては、その状況に適した内容を記述してほしい。

問 4

問 4 では、組込みシステム開発の請負契約における見積りやリスク対策について出題した。コスト、工期の見積りの基本や、契約における前提条件の変更の取扱い、リスク対応については、おおむね正しく理解されていた。

設問 2(2)では、外部リスクが現実化する予兆の早期検知について問うたが、“テスト計画の参考にする”、“結合テストの収束を見極める”など、時系列の欠陥発生状況の一般的な活用を記述した解答が目立った。解答に当たっては、本文の状況に適した内容になっているか、もう一步踏み込んで考えてほしい。

設問 3(2)では、仕様上の未確定事項が残っている要件を請負契約の中にも含める際に、どのような前提条件を設定しておくことが必要かを問うたが、前提条件の変更が発生した時に、変更による差異の量を明確にできない解答が多く見られた。契約交渉の場で説得力のある前提条件を解答してほしい。